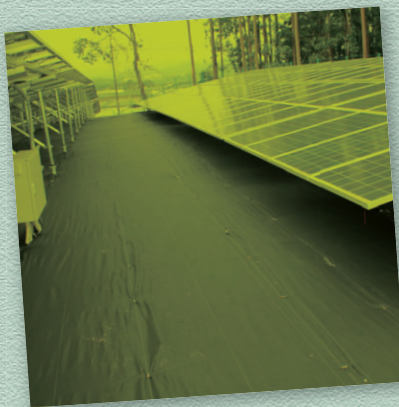


高密度織物 防草シート

グラスバスター

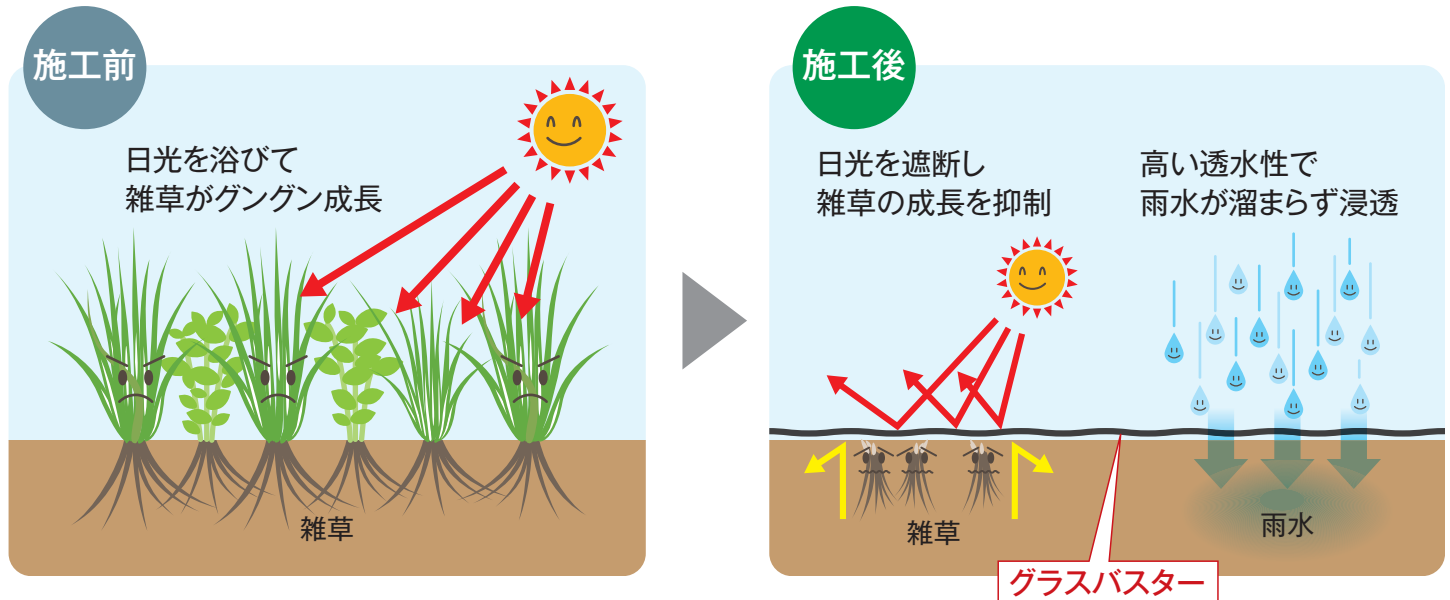


やっかいな
草刈り作業に
さようなら!

光をさえぎり、雑草の成長を抑制します

99.9%以上の
光をカット！

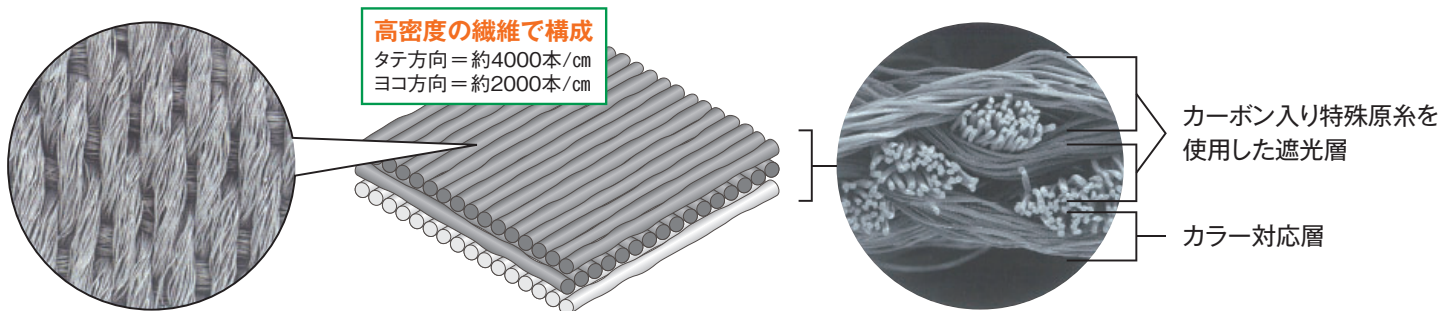
三層構造の織物で99.9%以上の光をカット！
雑草の光合成を妨げ、成長を抑制します。



その訳は…

高密度三層織物構造 特許取得済

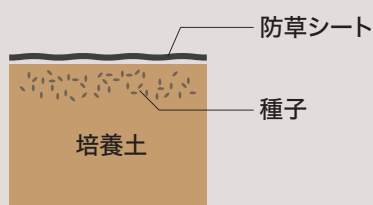
※製造元による取得特許です。



これだけ違う 防草効果

●試験概要

培養土にチガヤの種子を撒き、
上部に防草シートを被せ
14日後の状態を比較しました。



ガラスバスター

発芽が抑制され、葉は成長しにくい。



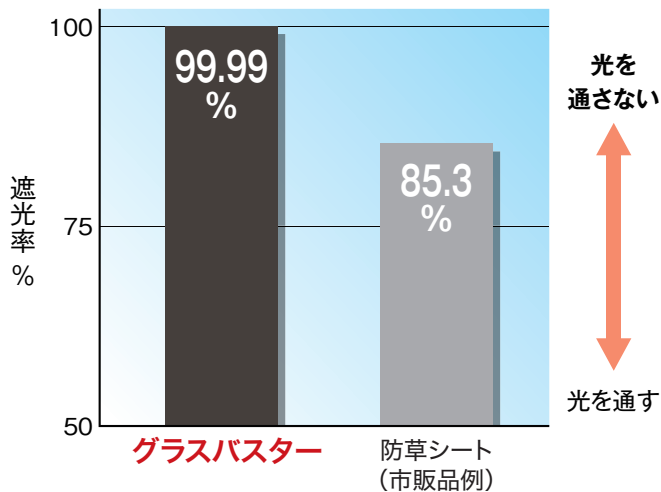
防草シート(市販品例)

発芽しやすく、葉が成長しやすい。

※製造元による実験結果です。

超高密度に糸を織り上げ
高い遮光性を実現。
光合成を抑え、雑草の成長を抑制します。

高い透水性を持ち、
シート表面の水たまりを防ぎ、
シート下の土壌の乾燥を防ぎます。



JIS L 1055 A法 ※第三者機関による測定値であり、保証値ではありません。



※写真は施工例です。

施工後10年後の
シートの裏。
水を通してているため、
地面は施工前とほぼ
変わらない外観を
保っています。

遮光性

透水性

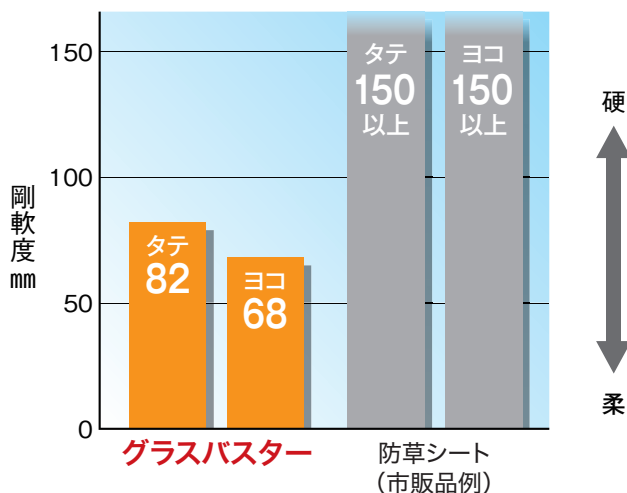
4つの
優れた特長

柔軟性

耐久性

柔軟性が高く、法面等の土地形状に合わせて
施工することも可能です。

福井県福井市の施工現場にて、
10年程度の施工実績を確認しています。



JIS L 1096 A法 45°カンチレバー法
※製造元による測定値であり、保証値ではありません。



施工現場の様子 (施工後10年程度経過)

※製造元による実験結果であり、保証するものではありません。

グラスバスターの施工方法

施工する前に

■ご用意いただくもの

グラスバスター、専用施工ピン、専用施工テープ、ハンマー、裁ちばさみ

■土地についてご確認ください

●施工しやすい状態かどうか

- ・ 雑草が繁茂している場合、あらかじめ草刈りをおこなうなどして施工しやすい状態にしてください。
- ・ 地面に著しい凹凸がある場合、できるかぎり平らにしてからシートを施工してください。平らにせずに施工すると、シートが破れたり、シートを踏んだ際にケガをする恐れがあります。

●常に強風が吹いている土地かどうか

- ・ ワンポイントアドバイス「風の強い場所への施工について」をご検討いただく等、必ず対策を講じてください。ただし、アドバイスどおりに施工いただいても、自然条件等によりシートが飛散する可能性があります。

●土地自体の水はけがよいかどうか

- ・ 土地の土自体が水を通しにくい場合、シート施工後に水たまりができる可能性があります。その場合、土地の水を流す方法をご検討ください。
- ・ 水はけが悪いまま施工しないでください。ピンの劣化が早くなり、ピンの抜け、シートのめくれ、飛散につながる恐れがあります。また、水はけが悪いと、シート上にコケや雑草が発生しやすくなる恐れがあります。

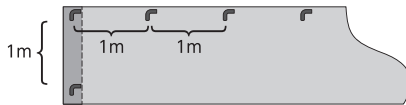
標準施工方法

1. 平たん地に施工する場合

※ピン打ちは浮きのないようしっかりと打ち込んでください。

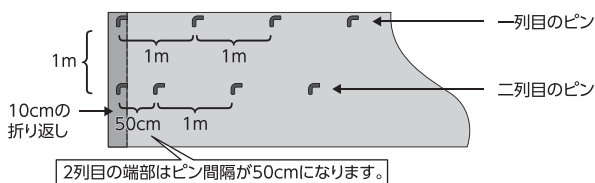
(1) 1列目のピン打ち

- ・ シート短辺を10cm以上折り返し、折り返し部分の上からピンをハンマーで打ち込んでください。
このとき、折込場所はシート端部より5cm程度内側を目安に打ち込んでください。
※シートに入っている2本のラインを参考にしてください。
- ・ シート長辺を長さ方向に1m間隔でピンを順次打ち込みます。
※シート長辺は折り返す必要はありません。
※ピンはシート端部より5cm程度内側を目安に打ち込んでください。
※シートを5m程度ピン打ちし、引っ張りながらシートを広げると施工が容易です。



(2) 2列目のピン打ち(幅2m品のみ)

- ・ 2列目のピンは1列目と平行になるように打ち込みます。このとき、1列目のピンの間に打つようにしてください。

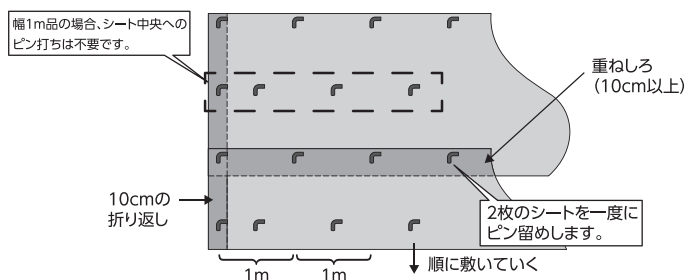


(3) シートの重ね合わせ | 幅方向

- ・ 2枚目のシートは1枚目のシートと10cm以上重ね合わせて施工してください。
※2枚目のシートも1枚目と同様に短辺は10cm以上折り返すようにしてください。
- ・ ピンを1枚目のシート同様、1m間隔に打ち込んでください。
このとき、必ずシートの重ねしろの上をピンで打ち込んでください。
- ・ 2列目のピンについても、1枚目のシートと同様に打ち込んでください。

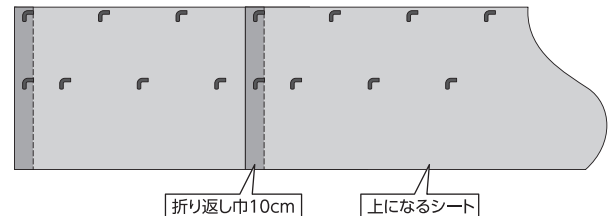
以上の工程を繰り返し、施工をおこなってください。

※下図は幅2m品の場合を示しています。(幅1m品も同様です。)



(4) シートの重ね合わせ | 長さ方向

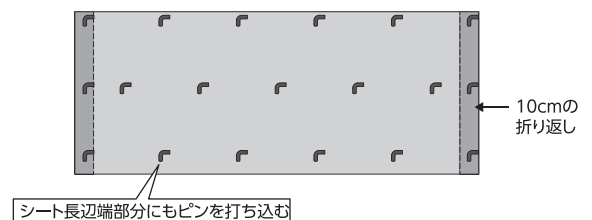
- ・ シートを長さ方向に重ね合わせる場合は、重ね合わせたときに上側になるシートの端を10cm以上折り返して重ね合わせ、(1)、(2)の要領で施工してください。(イラストは幅2m品の場合のイメージです。)



(5) 端末の処理

- ・ シートの端末は張り始めと同様にシートの端を10cm以上折り返し、折り返し部分にピンを打ち込んでください。
最後のシート長辺端部にもピンを打ち込んでください。

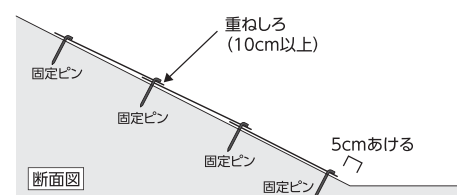
※下図は幅2m品の場合を示しています。(幅1m品も同様です。)



2. 傾斜地に施工する場合

基本的に「1. 平たん地～」の施工方法と手順は同様です。

- ・ 斜面の下から順にシートを施工してください。
斜面の一番下とシートの端は5cmあけるようにしてください。
⇒トラクターのスクリューにシートが巻き込まれるのを防ぐため
※必要に応じてあける広さは変更してください。
※トラクターが入らない場所ではあけなくても構いません。



●ピンが効きやすい土地かどうか(火山灰等を懸念)

- ・土に指を入れたときにすんなりとするかどうかを目安にしてください。入りやすい土地の場合、ピンが抜けやすく、シートがめくれたり、飛散する可能性がありますので、ピンのピッチを狭めたりする等、必ず対策を講じてください。

■その他

- ・地下茎雑草は根まで確実に処理をしてください。根が残っていた場合、シート下で発芽、成長し、シートを押し上げたり、突き抜けたりすることがあります。また、シートの押し上げはシートの破れやピンの浮きにつながる恐れがあります。

- ・シートを部分的に加工した場合、シートを施工していない部分で地下茎植物が発生すると、地中からシート下へ侵入、発芽、成長することでシートを押し上げたり、突き上げたりすることがあります。そのため、シートを敷地全面張りするか、シートを施工していない部分をこまめに除草してください。
- ・建物まわりで使用する場合、埋設管等に打ち込まないでください。
- ・作業者に危険が及ぶような急傾斜地では施工しないでください。
- ・シートと地面の間に隙間ができないように施工してください。隙間から風が入り込み、シートのめくれや破れが発生する恐れがあります。

ワンポイントアドバイス

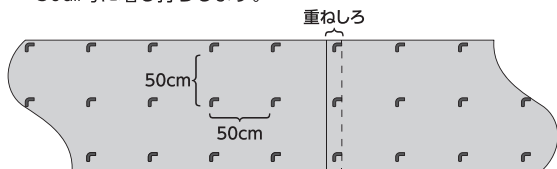
1. 風の強い場所への施工について

施工する土地によって、常時強風が懸念される土地につきましては、以下のようなピンの増し打ちや、テープでの重ねしろ目張り等対策をご検討ください。

標準施工方法と比較してめくれの危険性が軽減されます。

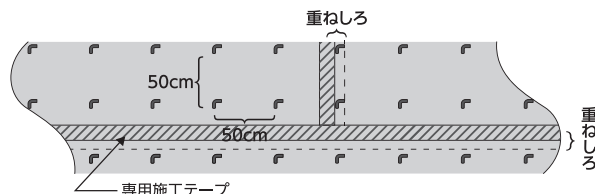
(1) ピンの増し打ち

標準施工方法において、1mになっているピンのピッチを50cm毎に増し打ちします。



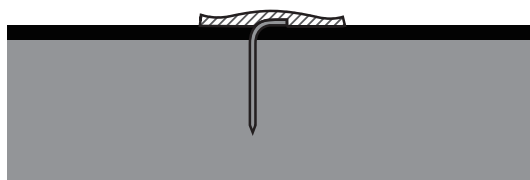
(2) 重ねしろの目張り

重ねしろを専用施工テープにて目張りします。重ねしろへの風の流入を防ぐためです。



2. ピン穴からの防草対策

ピン穴からの防草対策については、ピンの頭に専用施工テープを貼り、目張りすると、そこから生えてくる雑草を防ぐ効果が期待できます。



3. 障害物への納めについて

施工箇所に樹木や岩等の障害物がある場合、以下のような納め方をご検討ください。

(1) 樹木など比較的直径が小さいもの

シートに切れ込みを入れ、障害物の周りに這わせて納めます。入れた切り込みはテープでつなぎます。



(2) 切り株や岩など比較的直径が大きいもの

シートに切れ込みを入れ、障害物の周りに這わせて納めます。入れた切り込みはテープでつなぎます。



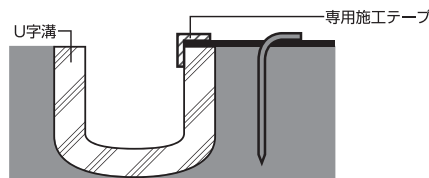
4. 端部の処理

(1) 基礎の取り合い



(2) U字溝との取り合い

シート端部とU字溝を専用施工テープで接着



■施工後、経過を観察し、以下のような場合は、効果持続のためにメンテナンスをおこなってください。

●ピン穴、シート重ね部、シート端部、切り込み部から雑草が発生した場合

- ・雑草はわずかな光が入るだけでそこを目指して成長していきます。それらの草が確認された場合は、随時除去していただくことをおすすめします。ソル系の草や横に広がる草がシートの上で葉を伸ばし、シートが雑草で覆われたように見えてしまいます。

●シートの穴あき、破れ等が発生した場合

- ・シート上を不特定多数の人が走る等、無理な力がかかる、もしくは突風等が原因で破れが発生することがあります。また、シート下にとがった石や切り株があったり、車が走行したり、タバコのポイ捨て等が原因でも破れが生じることがあります。それらの場合、専用施工テープで補修するか、既施工の

シート上に再度シートを重ねる等の補修をしてください。

●シート上の堆積物について

- ・風によって飛来した土や施工箇所の植木等の落ち葉が堆積した場合、定期的に除去してください。それらが腐葉土の役割を果たし、飛来した雑草の種が生育することがあります。

●専用施工ピン、専用施工テープについて

- ・地中に基礎や石等があり、ピンが浮いてしまった場合は打ち直しをおこなっていただく等の対応をしてください。また、テープがはがれてしまった場合は貼り直しをおこなってください。

いろいろな場所でご利用いただけます

住宅関連

建設予定地や分譲住宅の管理で必要になる草刈り作業。
植栽以外の場所は『グラスバスター』で雑草を防ぎましょう。



砂利下にもしっかりした強度で対応できます。



建設予定の空地も雑草がなく美しく保てます。

各種施設

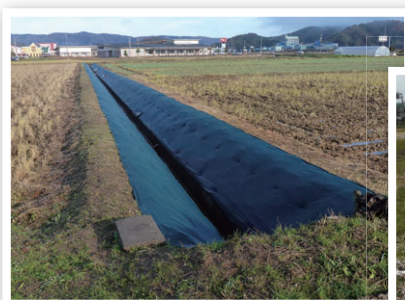
駐車場、線路脇、遊歩道など各種施設の周辺で雑草がはびこると、
美観を損なう、ゴミ捨て行為の原因になるなどの問題が発生します。
『グラスバスター』なら除草作業のコスト負担の軽減にも役立ちます。



植え込み



線路沿い



田畑の畦



土木用法面



駐車場内の遊歩道

太陽光 発電施設

発電パネル下の地面が雑草に覆われると、除草処理が必要になってきます。雑草により発電パネルに日陰ができると、発電効率の低下やホットスポット現象※が発生する危険性も指摘されています。広い面積でも施工しやすい『グラスバスター』なら雑草の発生を抑制し、毎年の除草コストを抑えるだけでなく、故障発生の予防にもつながります。

※ホットスポット現象

発電パネルに日陰が発生することで起こる異常発熱現象のこと。
発電モジュールの故障や、最悪の場合、火災を引き起こす恐れもあります。



製品ラインナップ

グラスバスター

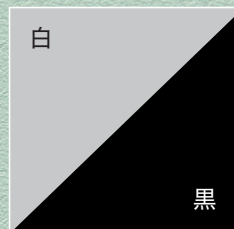


仕様

材質：ポリエステル
厚み：0.4mm
目付重量：185g/m²
梱包：ポリエチレン袋入

カラーイメージ

片面は白または緑、反対面は黒です。
表裏関係なく、どちらを表にしてもご使用いただけます。



商品名	カラー	サイズ	梱包	品番	価格
グラスバスター	白/黒	幅1m×50m巻	1本/梱	QM0401-121	オープン価格
		幅2m×50m巻	1本/梱	QM0401-221	
		幅1m×10m巻	1本/梱	QM0401-111	
	緑/黒	幅1m×50m巻	1本/梱	QM0401-122	
		幅2m×50m巻	1本/梱	QM0401-222	
		幅1m×10m巻	1本/梱	QM0401-112	

専用施工部材



専用施工ピン

長さ20cm

QM0490-B11

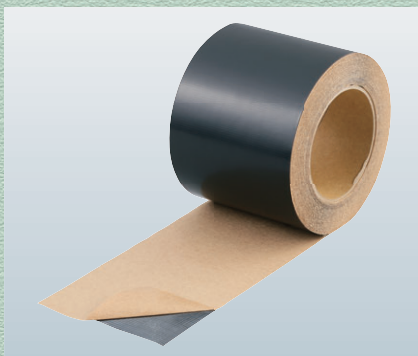
オープン価格

(200本/梱)

仕様

サイズ：長さ20cm

材質：鉄



専用施工テープ

幅100mm×20m巻き

〈黒〉

QM0490-B20

オープン価格

(10巻/梱)

仕様

サイズ：幅100mm×20m巻

基材：ポリエチレン

裏面：アクリル系粘着剤

ご注意 ご使用にあたり、ご注意・ご理解いただきたいこと

- ピン施工部分から雑草が発芽することがありますので、ピンの上を覆うように施工テープを貼ってください。
- 施工場所に雑草が繁茂している場合、シート施工の前に草刈り等、除草作業をおこなってください。
- 車両が通行する所には施工しないでください。シートが破れる恐れがあります。
- 施工場所に著しい凹凸がある場合、平坦にしてからシートを施工してください。ケガをしたり、シートが破れたりする恐れがあります。
- 水はけの悪い場所には施工しないでください。ピンの劣化が早まり、ピンの抜け、シートのめくれ、飛散する恐れがあります。また、シート表面にコケ等が発生しやすくなり、シート上に雑草が発生する原因になる場合があります。
- 地盤が緩いところには施工しないでください。ピンが抜けやすくなり、シートのめくれ、飛散につながる恐れがあります。

- 地下茎雑草は根まで確実に処理してください。根が残っていると、シート下で発芽、成長し、シートの押し上げや突き抜け、破れ、ピンが抜ける恐れがあります。
- シートを敷地の一部に施工する場合は、施工していない部分をこまめに除草してください。施工していない部分に地下茎雑草が発生し、地中からシート下へ侵入、発芽、成長することで、シートを押し上げたり、突き抜けたりすることがあります。
- 作業者に危険が及ぶようなところ（急傾斜地等）には施工しないでください。
- シートやテープのすきまから雑草が発芽した場合は随時除草してください。
- シートが破れてしまった場合は、施工テープで補修するか、シートを上から重ねて施工してください。
- シート上の堆積物は定期的に取り除いてください。そのままにしていると、堆積物から雑草が発芽することがあります。

製品保証について 本製品は屋外でご使用いただく防草シートです。施工される地域や自然条件等が異なりますので、施工後の製品保証はいたしません。

業務用

※価格・仕様は2026年4月現在。

掲載価格はメーカー希望小売価格で、消費税及び組み立て・施工費は含まれておりません。

- 本文記載の表示価格には、消費税は含まれておりません。
- 価格・仕様他、当カタログの内容等は予告なく改訂する場合があります。
- 写真は実際の色・材質感とは多少違う場合があります。

DAIKEN株式会社

© DAIKEN CORPORATION 2026.04

本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製はかたくお断りします。

製品のお問合せは

サウンドセンター 東京 TEL. (03) 6271-7785 大阪 TEL. (06) 6205-7245

受付時間：平日10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇はお休みとなります。）

発行 2026年4月

[608-16] ON2026.04 (P) (P4.9-01)